

# パンタナール通信

一般社団法人 南北米福地開発協会 会報 2015年5月1日 140号

世界平和地球村の建設と自然環境の保護

Toyota, Hi-Lux DC4x4 DX 2500cc

四輪駆動、速度5段、ディーゼル(高品質)



タイヤはパンタナール向けの特別仕様。  
車の前方と荷台に車体保護の為の鉄のガードを取り付けて使用する予定。車内がゆったりとして、サスペンションもよく、デコボコの道でも楽に走れる。レダにVIPたちが来た場合、施設内を案内するときの最適車両。

## レダに新車両＝FFWPU-USAが寄贈！

四月一日、パラグアイの南北米福地開発財団アスンシオン事務局に、新鋭の車両がやって来ました。レダ基地を訪問した高橋泰子さんがレダ基地の現状を、米国のFFWPU(世界平和統一家庭連合)で報告したことに始まります。ビショップ・キム(北米大陸会長)、Rev.バルコム(北米協会長)、Rev.マイケル・ジェンキンス各氏の理解のもとで、この新車の寄贈となりました。

レダ基地では、トラクター、トラック、ピックアップ、ワゴンなどの車両が使われています。農場、牧場、養殖場、工事現場などは言うまでもなく、原野、森林、湿原など、様々な環境における様々な作業に活躍し、開拓地における必須の機材です。基地スタッフは、すべての車両をいいに整備し、通常の耐用限界をはるかに越え、長年使用し続けています。このような車両の外見は、酷使に酷使を重ねた老朽車の如くなることもあります。

極端な例では、手作りの特殊金具を用いないと開閉できないドア、荷台に臨時に設置された排気装置、運転席に取り付けられた、見たこともないボタンやスイッチ類などがあり、都市部からの訪問者を驚かせています。

パンタナールは、人間にとっても、機械にとっても過酷な環境であることや、遠隔地ゆえに適正な部品を入手しにくいことも要因の一部です。一個の部品がないからと言って、数週間、あるいは数ヶ月、車を遊ばせておくこともできません。何とかして現役車両として動かすため、当然ながら安全には最大限の注意を払っています。先進国では思いも着かないような創意工夫が満載のレダ基地です。

しかし、公道を走行するには、見た目にも全うな車両でなければなりません。このたび米国の支援者たちから贈られたピックアップは、この意味でも大変にありがたいものです。チャコ地方の道路が走行可能になり次第、支援者たちの篤い心を乗せて、レダ基地に向かつて走って行くことになっています。米国のFFWPUの皆様改めて感謝致します。

# 南北米福地開発協会の代表理事が交代

本年四月一日付で、当法人の代表理事と事務局長が、それぞれ交代しました。

## 交代にあたり、前代表理事 飯野貞夫



桜の花が散って新緑の葉が生まれるように、先回の理事会で、長い間事務局で責任持ってきた代表理事と事務局長の交代が和やかな会議の内に決まりました。二人とも今後、理事として留まり、

新体制に協力して行きます。レダもまだ多くの超えて行かねばならない課題があり、国内活動ともに一層皆様のご支援、ご協力が必要です。幸い中田欣宏新代表理事は、南米アルゼンチンでの生活も長く、スペイン語を駆使して現地の人々と自由に交流できますので、米国を初めとする、国際的な連携協力の中、南米・北米の連結を有効ならしめて、進んで行けたらと願います。今まで皆様の厚いご支援を賜り、心から感謝いたします。引き続き新代表理事を支えて、当会の目的を着実に果たしながら前進して行きましょう。皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。前代表理事 飯野貞夫

## 会員の皆様へ、代表理事 中田欣宏



皆様のご支援ご協力心より感謝申し上げます。

このたび飯野代表理事、柴沼事務局長の退任に伴い代表理事職を中田が、事務局長職を戸石文夫理事が引き継ぐことになりました。飯野理事、柴沼理事は長い間南北米福地開発協会の代表、および事務局長を務められ、一般社団法人になってからも代表理事、事務局長として提唱者の精神を守りレダにおける地球村建設の

先頭に立つてご苦勞して下さったこと心より感謝申し上げます。思いもかけぬ大任に身も縮む思いですが、内外の期待がかつてなく高まる今であれば一瞬の停滞も許されず、のみならずレダを中心としたモデル地球村建設、自然環境保全のため一層の発展、そして実現に向けて南米、北米、日本が一体となって前進していくことが、レダで御苦勞しておられる方たちや前任者、ご支援くださっている方々への思いにお答えする唯一の道であると考えます。またターニングポイントとしての現状を考えれば会員の皆様の一層のご支援ご協力が不可欠です。初志貫徹！ご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。新代表理事 中田欣宏

## 今レダ基地では

四月十二日、北米より奈田氏と北中氏が、レダ常任スタッフの佐野氏とともに、元気がよく到着しました。奈田氏は、北米における当会の責任者です。さっそく中田所長の案内で、レダ基地内各所のツアーを行いました。翌十三日には伊達氏も到着し、新鮮なニュースを送ってくれました。十四日には、パラグアイ川を60 Km 余り北上し、



バイア・ネグラの病院の院長は、州都オリンポ市出身でキューバで医学を学んだ女医。右より、北中氏、奈田氏。



ディアナ村の古い校舎にて、校長先生や生徒たちの歓迎を受けました。奈田氏一行は、規律正しい生徒たちに感心しました。

バイア・ネグラ市とディアナ村を訪問。いずこでも暖かい歓迎を受け、今後の相互協力を構想しながら、親しく交流する時を持ちました。



レダ基地、セミナーハウス回廊にて、奈田氏（右）と北中氏。



桜井君が釣ったドラドは、75cm、4.8キロ。

# 開拓精神への理解と共感を深めたパンタナール一日研修会

三月二十八日（土）、東京渋谷区代々木の国立オリンピック記念青少年総合センター、国際交流棟において、当法人とNPO地球の緑を守る会の共催により、第七回パンタナール一日研修会が開催されました。主な講話は

- ★提唱者の思想と私たちレダ開拓史（飯野）
- ★ここまで進んだ地球環境問題（高津）
- ★レダプロジェクトにおける理想郷建設（柴沼）。

暖かい春の陽射しに恵まれたこの日、朝には二分咲きだった会場の桜並木も昼までにほぼ八分咲きまで開花。62名の参加者、講師陣、スタッフの顔もほころびました。プログラムは恒例のテーマに毎回新しい内容や写真が加わり、いつもよりリアルで、分かり易くなっていました。



国際交流棟の桜並木の下で、にこやかに記念撮影

今回は、レダ基地の現場で牧畜と渉外を担当している佐野氏と、養豚を担当している青年の坂井さんによる現場報告もなされ、参加者に生の体験を伝えました。また、最終セッションでは、各講師を囲んで小グループによる懇親会が持たれ、各参加者は自分が希望する小グループで講師と親しく交流し、質問等を行いました。

## 参加者の感想文より（抜粋）



研修の風景（坂井君の体験報告）

●初めて参加しましたが、思いが適った一日でした。苛酷な地を、よくぞここまでなされたと感じました。（男性・64歳）

●とても深い内容があり、先駆者達の苦労があったというのを知ることができました。青年の坂井さんの話はとても率直で、同じ青年として興味深く、とても刺激になりました。（男性・22歳）

●散歩を兼ねた高津先生の植生実地講座、とてもよかったです。坂井さんの養豚の証もよかったです。レダの話はいつも希望的で心が温かくなります。他の幸福のために生きる精神を実践するレダだからこそ本当の感動を与えるのだと思います。（女性・55歳）

●子供の教育とともに、私もパンタナールの開拓精神を実践できるよう学び、受け継いでゆきたい。いつかはパンタナールの現場の雰囲気を感じるため訪ねてみたい。（男性・41歳）

●苛酷な自然環境の中で、先輩の方々が真の愛を實踐し、責任感を持って活動し、奉仕を通して先住民の心を動かし、大統領の心まで動かしたことはまさに真の愛の精神の実証だと思えます。理想郷のモデルが展開されているのを感じ、希望です。もっと支援してゆきたいと感じています。（男性・52歳）

●レダの目に見えなかった開拓、開拓、開拓、危険と常に隣り合わせで開拓してこられた先生方に頭を垂れるばかりです。今後は私も共に歩んで行きたいと思えます。（女性・67歳）

●今日たつぷり生命の復活をさせていただきました。『カナン（蚊難）』その精神いいですね。ミッションを楽しむ。わくわくします。子供に夢を託して、レダに送りたいと思っています。（女性）

## 連載インタビュー（第7回）

### Amo Leda!



#### ビクトル・ソーサ

**Victor Sosa (52)** インディヘナ（先住民）で、エスペランサ村在住。レダの最古参従業員。一人息子ビクトリーノ（Victorino）は、レダでトラクターを運転する第一人者である。

**Q.** レダに働きに来たのは1999年でしたね！

**A.** 正確な年代は覚えていません。こに来た時、日本人ばかりが10人ほどおられた。梶栗氏か藤原氏を覚えています。私たちが数人最初に手伝いに来ました。

**Q.** その頃のレダの状況はどうでしたか？

**A.** 草や木が生えている原野という感じで、その草や木をマチェテ（現地の鎌）や斧で切っ

てきました。そこに今の公館や日本人の住む館を作る土台を作りました。土も一輪車で何度も運んできたのを覚えています。排水のための溝を掘る作業も私たちがやりました。

**Q.** 息子さんがレダになくはならない人になりましたね！

**A.** 息子はここで働けることをとても誇りに思っています。私はもう引退していますが、塗装の技術を持っているので、ペンキ塗りが必要な時だけお手伝いに来ています。

**Q.** レダは大きく変わりましたね！

**A.** 今はとてもきれいになり、みんながうらやむ場所となりました。その土台を作ることに最初に貢献できたことを誇りに思っています。

# 5月8日 第三回稚魚放流式典の成功に向けて！

## 国と先住民たちの期待を担う

レダ基地で進めているパクーの人工孵化と養殖は、パラグアイ川の水産資源回復と新たな産業振興に向け、国家からも、地元の先住民たちからも強い期待が寄せられています。

二〇一三年五月には第一回稚魚放流式をフランク大統領を迎えて行いました。二〇一四年には再度フランク大統領夫妻を迎え、成功裏に放流式が行われ、地域産業育成に向け、さらに大きな期待を持たれました。今年五月八日に実施する、第三回放流式では、稚魚五万匹をパラグアイ川に放流します。

私たちは、国家の援助の手が行き届かない辺境地住民への支援、特に学校教育の向上に今まで十四年にわたり力を入れて来ました。さらに、教育を受けた子供たちが働けるような地域産業を育ててゆくことを目指しています。

本年の放流式典を通し、政府と主要な民間援助団体が関心をより高め、具体的な支援活動を進める契機となるはずです。

また、日本からの支援は、村が自立して生活できる環境を創るまで継続していくことが願われます。



**第三回放流式典成功のため、皆様のご支援を左記の口座へ！**

郵便口座

記号 一〇二八〇

番号 六一三四九七五一

南北米福地開発協会

## 第十五回国際協力青年奉仕隊員募集

青年指導者たちが、国や文化を越えた奉仕活動を通して、世界と人間と自然への理解を深め、学びの機会を得られるように企画いたしました。

期間 二〇一五年八月二十五日～九月十日

活動地 パラグアイ、パンタナール地域

活動内容 学校の建設、植樹、文化交流。レダにて奉仕活動、自然探訪、学習会、乗馬、釣り体験など。

参加資格 18歳以上、概ね25歳までの健康な男女

参加条件 ①小論文(四百字以内)を六月末までに当協会へ提出。テーマは参加の動機及び将来の夢

②小論文に各自の紹介者の推薦文を添付すること。

採用者発表 直接該当者に連絡いたします。

募集人数 十名前後(日本から)

参加費用 十五万円 成田～アスンシオン往復航空券は主催者が支援致します。お問合せは、下記事務局、戸石、小田まで。



## 第六回環境問題研究会のご案内

日時 五月十日(日) 13時30分～16時

講師 陽捷行先生(みなみかつゆき、北里大学名誉教授、公益財団法人農業・環境・健康研究所、農学大学校長) 参加費 無料

講演テーマ 「土壌・人間・環境問題」

場所 川崎市大山街道ふるさと館 会議室

主催 一般社団法人 南北米福地開発協会

参加申込み、お問合せは、下記の事務局まで、FAXまたはメールでご連絡ください。

## 会員種別

- ◆ 会員一口1000円/月 ※口数は申込者が申告
- ◆ 特別会員一口1万円/月 ※口数は申込者が申告
- ◆ 法人会員一口1万円/月 ※口数は申込者が申告

会費は、毎月の引き落とし方式です。

会費振替用口座 ゆうちょ銀行 **00290-5-113072**

加入者名：シャ) 南北米福地開発協会

入会申し込みと同時に手続きをお願い申し上げます。それが確認でき次第、会員番号を確定し、ご案内いたします。

♥ 入会申込書は、左記の事務局にお申し込みください。

また、ホームページからもダウンロードできます。

PDF形式 [http:// www.asd-nsa.jp/nyuukai.pdf](http://www.asd-nsa.jp/nyuukai.pdf)

Word形式 [http:// www.asd-nsa.jp/nyuukai.docx](http://www.asd-nsa.jp/nyuukai.docx)

## 一般社団法人 南北米福地開発協会事務局

〒213-0001

神奈川県川崎市高津区

溝口3-11-15

岩崎ビル4F

電話：044-829-2821

FAX：044-829-2820

ゆうちょ銀行(旧一般会員会費納入)

記号10280 番号61349751

一般社団法人 南北米福地開発協会

E-メール: [office@asd-nsa.jp](mailto:office@asd-nsa.jp)

ホームページ: <http://www.asd-nsa.jp>